

## (2) 産業別生産額

生産額を産業別に平成7年と比較すると、1次、2次産業では減少し、3次産業での伸びが大きいものの、構成比では製造業が39.1%を占め県内産業の主力であることに変わりはない。

平成7年からの生産額の伸びをみると、農林水産業(-16.4%)、鉱業(-3.4%)、製造業(-6.1%)など1次、2次産業では減少し、金融・保険(26.6%)、通信・放送(25.3%)などでは伸びが大きい。

製造業の構成比は近年低下傾向にあるものの、平成12年で39.1%と全国(32.1%)に比べ7ポイント上回り、県内産業の主力であることに変わりはない。

一方、サービス業は、近年構成比を増大させ、平成12年では19.7%(平成7年16.9%)となったが、全国の22.9%(平成7年20.4%)に比べると構成比は低い。

---

### 産 業

産業関連表で言う産業は、財貨・サービスの個々の生産活動を意味しており、同一事業所で2つ以上の品目を生産している場合、それぞれ区分して該当する産業部門に分類する。したがって、企業あるいは事業所をベースとして分類されている通常の産業とはその概念を異にする。

図1 県内生産額の産業別の伸び

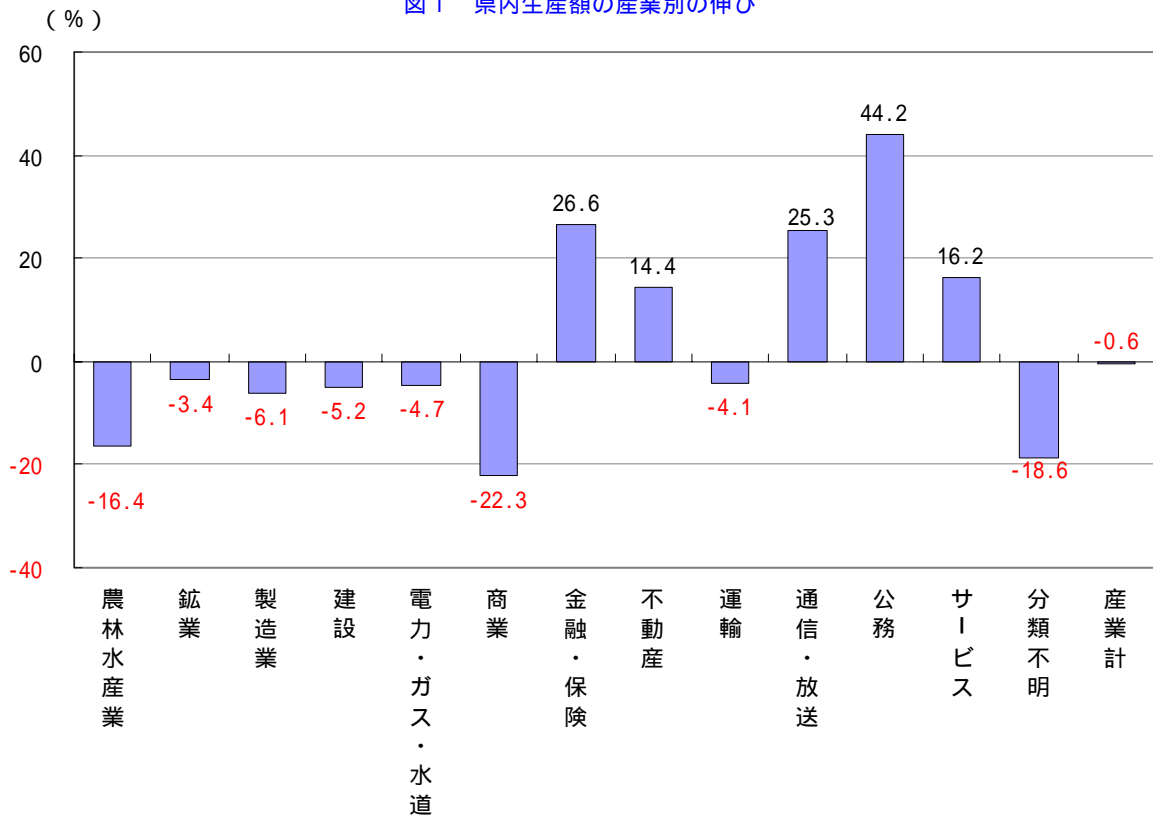


図2 生産額の産業別構成比 (全国、富山県)

